

行政視察報告

研究学園都市対策特別委員会

視察期間

平成十六年一月十五日から
一月十六日まで

視察先と視察事項

▽福岡県 北九州市

・北九州学術研究都市について

視察概要

壮大な庁舎と優雅な小倉城の一〇〇万都市北九州市の四大プロジェクト新北九州空港、東九州自動車道、ハブポートの中の一つ北九州学術研究都市の事業整備を視察してきました。この事業は都市整備公団が第一期事業を平成七年に着手し予定通りの平成十三年に早稲田大学をはじめ国立九州工業大学等を誘致し開校と合わせて学園都市の街びらきが行われました。これに合わせ第二期の宅地造成工事が市施工で行われています。この新しい開発は街の周辺の広大な丘陵地の自然環境や都市環境を活かし先端科学技術に関する教育や研究機関に良好な住宅地の供給を目標に街づくりが進んでいます。これは末吉市長の北九州市ルネッサンス構想に基づき大学を集積し知的基盤を活用し産業化を目指し(財)北九州産業学術推進機構を立ち上げ、産学連携の取組を深め広くアジアなどを頭に入れた新産業の創出と国際競争力を有し、

二十一世紀産業都市の実現に向け市長の強いリーダーシップを元に北九州学術産業都市も計画通り順調に進んでいるとの説明を受けました。

第二日目は都市整備公団の事務所により広大な丘陵地で行われている大学を中心としての第一期工事の開発状況と既に開校となっている大学を中心に近代的な施設や周辺の住宅地など自然と共に生活し教育と研究が共存しすばらしい複合的な街づくりを目指していると説明を受けこの視察が当市の学園都市の参考になればと思った視察でした。



北九州市役所にて

▲学術情報センターにて

首都機能対策・市街地活性化特別委員会

視察期間

平成十六年二月十二日から
二月十三日まで

視察先と視察事項

▽広島県 三原市

・中心市街地活性化対策の総合的支援等について

▽広島県 尾道市

・中心市街地活性化対策総合調整事業について
・中心市街地商店街リノベーション
助成事業等について

視察概要

かつて三菱重工業他数々の大企業の進出で工業都市として駅前通りも毎朝五〇〇〇人の昇降客で賑わった三原市も、今はその当時の面影も殆どみることとできないくらいに衰退ぶりでありました。

市街地活性化を考え、種々な努力をされており再開発等々をなんとかしようとの気持ちはあったようであるが、担当者のY氏の本音によると「結局は何もしなかった方がよかった」と言われた一言が誠に印象に残る視察でありました。

尾道市は誠に耳ざわりの良い呼び名の街で歴史的にもまた、その瀬戸内海を見下ろす景観にしても京都に勝ると思われる条件の中で、ほっておいでも観光客の絶えない街であり、その中で市街地活性化を考えられ、商店街に

おいても二二〇メートル余を、厚さ六センチの御影石を敷き詰めるなどの努力もされており、文学ゆかり街としての数々の工夫もされておられる様でした。



▲三原市役所にて

ただかつては尾道水道を利用した数多くの倉庫郡があつて中には県営の倉庫もあり、現在は休業状態で倉庫郡全体が誠に閑散として、接岸している船も殆どなく、さみしさは何であらうかと思つたものでした。

やはりこの街は観光客をたよっているだけの街になるのではないだろうかと時代を思わせる視察になりました。

※尚、各議員の視察報告書は議会事務局にあります。